

猫には何を食べさせるべきでしょう？

大きくても小さくても、猫は皆、真の肉食動物

すなわち、生きていくためには、猫は肉を食べなければならないのです。猫はベジタリアンになることはできません。生態系の頂点を占めるよう進化してきたわけですから、猫の体は生の獲物を消化するよう特別にできているのです。これは、虎にも、そして今貴方の膝の上にいる猫にも当てはまります。

野生では、猫は生の獲物を丸ごと食べる

猫の食事には、ネズミやその他身の回りにいる小さなげっ歯類、ウサギ、虫、両生類や鳥などが含まれます。猫の体は、このように水分が豊富で、蛋白質に富み、その代わり炭水化物がとて少ない食事を代謝するよう特別にできているのです。猫の消化器系は、短く、酸性度が高く、自然と病原菌に耐えるようにできていて、肉、内臓、骨を含む生の食べ物を効率よく代謝することができます。肉を加熱すると栄養素が壊れるため、猫が十分な栄養を摂取できなくなり、更には骨が消化できなくなって、危険をもたらします。

猫は何千年も肉食に頼って生きてきた

猫は炭水化物を上手に消化する能力を失ってしまいました。過剰な炭水化物、特に穀類が食事に含まれると、結果として肥満、糖尿病、重大な消化器症状の原因となり得ます。猫は必要なエネルギーの大部分を、肝臓が作り出すグルコースから得ていて、その源になるのは炭水化物ではなく蛋白質です。猫は砂漠の生き物

として進化してきたわけですから、本来なら水を飲まなければならないことには殆どありません。ドライフードを食べさせられている猫は、慢性的な脱水症状の危険性があり、尿路や腎臓に障害を起こす危険性が高くなります。ドライフードの水分は10%程度で、ドライフードしか食べない猫は、たとえ水を飲んでも、60-70%の水分を含む缶フードや生肉食を食べている猫の半分も水分を摂取できていません。



ドライフードはやめましょう



生挽肉数種と丸ごとの骨を含む肉切れ

生肉食の多くの利点

- 消化に良い
- 便の臭いと量が大きく減る
- 毛艶がよくなり、抜け毛が減り、毛玉がでにくくなる
- 体力が増加する
- 肥満の猫は体重が減る
- 歯の状態がよくなる
- 尿路の状態がよくなる

猫にとって生物学的に適切で自然な食事を与えましょう

猫の体が本来要求する食事を与えること、それによって猫が受ける恩恵ははかり知れません。そして、それは全く難しいことではありません。最近では冷凍の生肉食をネットで注文して家に宅配してもらうこともできるし、若しくは手作り派であれば家で作ることもできます。

詳細

詳しくは、[FelineNutrition](#)をご覧ください。生肉食が初めての方にも、ずっと生肉食を実行してこられた方にも、科学的根拠に基づいた情報が満載です。[Facebook](#)では FelineNutrition として登録しておりますので、皆様の投稿も大歓迎です。

猫の健康増進にご協力ください

フィーライン・ニュートリションへのご参加は無料です。猫の食生活を変えるために何ができるかを、一緒に学習していきましょう。

